

HRIシナリオプランニング「ソーシャル」セッション

「2025年の超ICT社会における安心できる暮らしとは？」

(株)ヒューマンルネッサンス研究所(HRI)は、2014年秋、「2025年の超ICT社会における安心できる暮らしとは？」をテーマとする全3回のシナリオプランニングセッションを開催。このテーマについて関心のある、さまざまなバックグラウンドをもった人たちが、各回約25名集まりました。

1回目で社会全体というマクロな視点から未来シナリオを描き、2回目でその社会に生きる個人というミクロな視点から、各未来シナリオを掘り下げました。そして3回目で、それまで描いてきたシナリオを背景に、その社会における課題・ニーズを発見、サービスコンセプトづくりにまで発展させていきました。

1 回目

“社会全体”というマクロな視点から未来シナリオを描く

2 回目

その社会に生きる“個人”というミクロな視点から、各未来シナリオを掘り下げる

3 回目

それまで描いてきたシナリオを背景に、その社会における課題・ニーズを発見、“サービスコンセプト”づくりにまで発展させる

4つのシナリオ

未来シナリオを描いていくにあたって、いま起きている変化の兆しから導き出した未来社会の分岐軸と、そこから生まれる4つのシナリオを設定。このシナリオにもとづいて社会像や人物像、サービスコンセプトを描いていきました。

定常型経済(質の充実優先)

生産と消費をバランスさせながら、活発な経済活動が行われる
経済性や効率性だけでは評価できないものに価値を見出していく

シナリオ2. 信念追求ライフ

信念を大切にした行動を通じて、新たな安心をつくり出す

シナリオ1. 悠々安穩ライフ

日ごろから備える行動が、安心感とともに活力創造も促す

シナリオ3. High Risk High Return ライフ

束縛されず大胆に行動し、成果次第で報酬や名声を得られることに安心感を感じる

シナリオ4. Care & Gain ライフ

リスクマネジメント行動を徹底し、安心して活発な活動を行う

成長型経済(規模の拡大優先)

生産と消費の拡大、成長スピードの向上を目指して活発な
経済活動が行われる。経済性や効率性を至上価値とする

リスクを恐れず積極的にチャレンジする、大胆な思考・行動様式をとる人が多数派となる

経済のあり方

行動の志向性

リスクを排除する
できるだけリスクを回避できるように予防や事前対策に重きをおく、慎重な思考・行動様式をとる人が多数派となる

想像してみよう。10年後の未来

仕事で、生活で、ICTが当たり前になった2025年の日本では
新たな社会生活上のリスクや不安が増加している。

その課題に応えるため、どんな新しい製品やサービスが生まれているのだろうか？
シナリオプランニングで描いた4つのサービスコンセプトを紹介します。

シナリオ2.
信念追求ライフ

オレ様スキャナー

シナリオ1.
悠々安穩ライフ

オープン環境でのリアル/バー
チャル連結による安心サービス

シナリオ3.
High Risk High Return ライフ

失敗者再生システム

シナリオ4.
Care & Gain ライフ

モジャセンサー®OMRON



サービスコンセプトが生まれるまで

シナリオ1. 悠々安穩ライフ



シナリオ1. 悠々安穩ライフ

(定常型経済×リスクを排除する)

- ・生産と消費をバランスさせながら、活発な経済活動が行われる
- 経済性や効率性だけでは評価できないものに価値を見出していく
- ・できるだけリスクを回避できるよう予防や事前対策に重きをおく、慎重な思考・行動様式をとる人が多数派となる

対話からこの社会の特徴や困ったところを描き出しました

■この社会の特徴:

「古き良き」を尊重しつつ、

技術の利活用によって安心な生活基盤を確保

- ・気の合う同士での安心 & 快適コミュニティ形成
- ・収入だけが目的ではない仕事
- ・スムーズな資源の流通・循環を実現
- ・アナログ・デジタルのベストミックス

■この社会の困ったところ:

- ・退屈で刺激が足りない
- ・内向的な人が多い
- ・一度人間関係が悪化すると居づらい
- ・世の中の情報に疎くなる

“個人”というミクロな視点から、シナリオを掘り下げる

畠山千尋さん(35歳)

座右の銘・モットー・口ぐせ:
秋田発 世界中の幸せ!



近影

職業・趣味・特技・住居

職業: 若女将(実家旅館)

最近兄の人数で海外実務
研修所みたいな旅館

住居: 実家 ← 地味 築電

日本酒作りや
秋田でミソも企画

実家を継いで旅館を運営する畠山さん。しかしバーチャルリアリティの普及により、世の中はリアルで体験しなくてもバーチャルでよいという風潮に。畠山さんの旅館も当然、そのあおりを受けてお客さんの足が遠のいてしまう。そこで食事や温泉などリアル体験ならではの価値をアピールすることで、客足が回復。ところが地元の人が都会に流入したことで受け入れ態勢不足に陥る。そこでリアル体験とICTを絡めた新しいサービス・ツーリズムを開発。地元の人に戻り、都会の人が多数訪れるようになる。

<p>平日の過ごし方 (朝・昼・晩)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちとラクソク遊ぶ 旅館業 FMラジオ メニュー開発 閑散期はラクソクの合宿旅行 	<p>休日の過ごし方</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様をおもてなし 地元産材で料理 	<p>食生活</p> <p>地元の食材を使って火を通した郷土料理</p>	<p>宝くしがあつたときの使い道</p> <p>自宅の壁紙をタンスに貼金 → 新しい旅館のため</p>
		<p>最近ハマっていること</p> <p>地元産材を使った新メニュー開発 グローバルメニューも</p>	<p>10年後(2035年)の夢</p> <p>ラクソクの世界大会出場 選手から学ぶこと、感覚で楽しむ新食文化</p>
		<p>好きな情報・コンテンツ</p> <p>ラクソクに関する情報 食材、料理メニュー情報</p>	<p>日々楽しみにしていること</p> <p>旅館の不算工、地元の人との交流</p>
		<p>頼りにしているモノ・人</p> <p>地元の友人</p>	<p>心配ごと 困りごと</p> <p>食材の安定供給、町の衰退 SNS 上での評価、海外旅行客の増加</p>

甲斐隆さん(66歳)

座右の銘・モットー・口ぐせ:
Do it yourself



近影

職業・趣味・特技・住居

職業: 父の電気屋主人

趣味: 家庭菜園、孫とあそぶ

特技: DIY

住居: 奥多摩、軒家

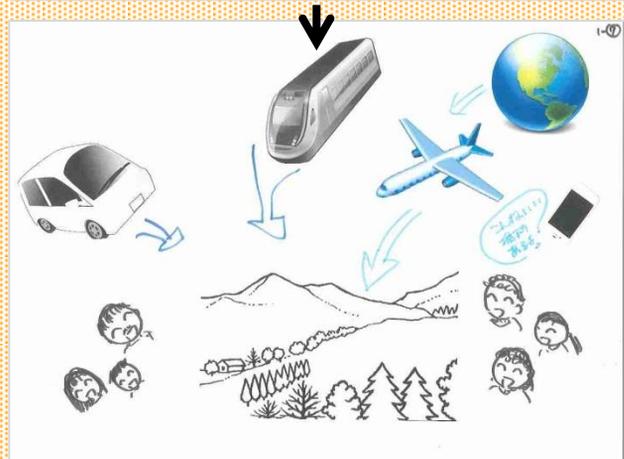
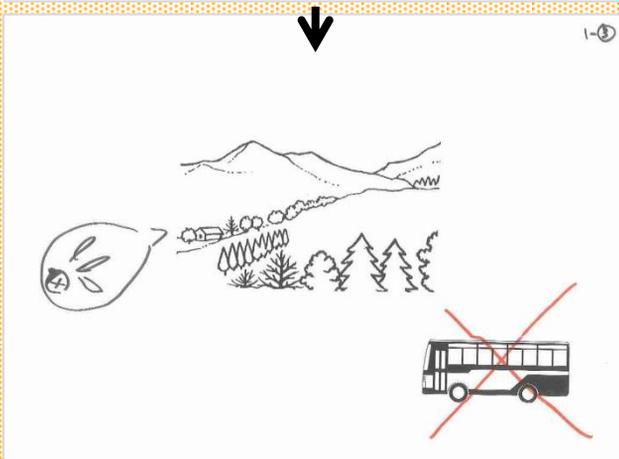
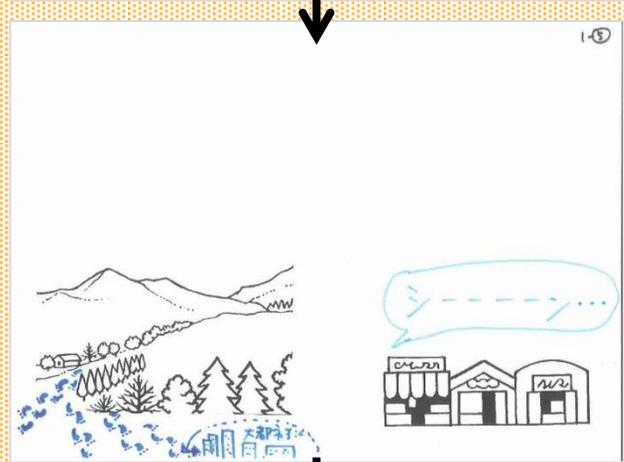
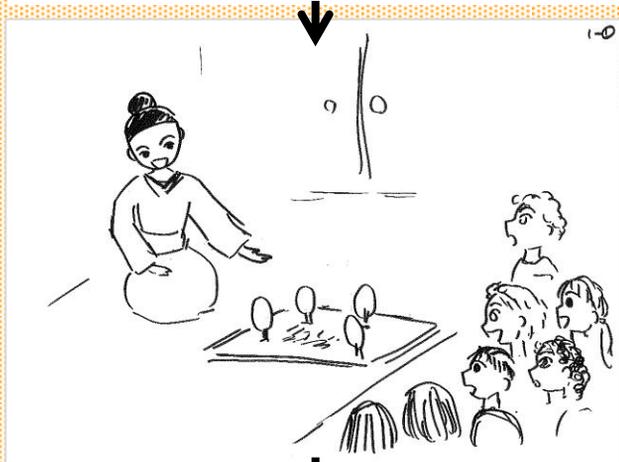
甲斐さんはエンジニア経験を活かしながら電気業を営み田舎暮らしを満喫している。しかし突然調子を崩し、近所のかかりつけ医では判然としなかったが、大きい病院を受診するとがんになっていたことがわかる。先端の遠隔放射線治療を受けるも治療法が影響して、近所の人にもがんが拡大。そこで地域住民が一体となって薬を開発。コミュニティ存続の危機を回避する。

<p>平日の過ごし方 (朝・昼・晩)</p> <p>早朝 火田について作業</p> <p>日中 電気屋さん</p>	<p>休日の過ごし方</p> <p>火田いっしょ</p> <p>コミュニティ活動か DIY</p>	<p>食生活</p> <p>家庭菜園で作った野菜や近所の人と交換したものを自分で調理する</p>	<p>宝くしがあつたときの使い道</p> <p>家族や子孫と旅行 地域のために金子設備、レジャー</p>
		<p>最近ハマっていること</p> <p>旅行(国内)</p>	<p>10年後(2035年)の夢</p> <p>元気で生きてほしいこと</p>
		<p>好きな情報・コンテンツ</p> <p>新聞、本</p>	<p>日々楽しみにしていること</p> <p>子どもや子孫とのコミュニケーション(TV電話) 地域でのコミュニティ活動</p>
		<p>頼りにしているモノ・人</p> <p>地域のコミュニティ</p>	<p>心配ごと 困りごと</p> <p>終活 病気になるたときのかかりつけ医</p>

シナリオ1

悠々安穩ライフ

畠山千尋さん(35歳)の
生活ストーリー



シナリオ1

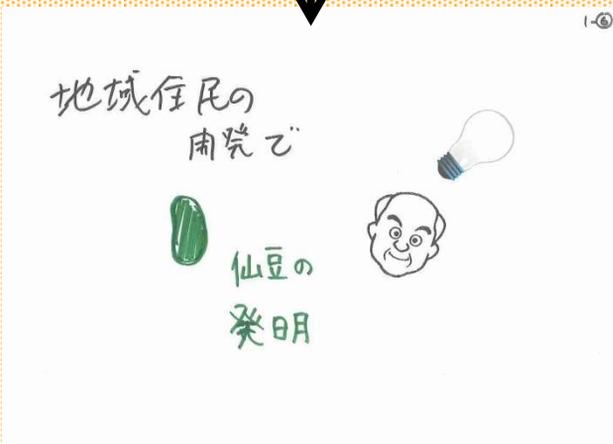
悠々安穩ライフ

甲斐隆さん(66歳)の
生活ストーリー

1-0



1-4



それまで描いてきたシナリオを背景に、その社会における課題・ニーズを発見、“サービスコンセプト”づくりにまで発展させる

Phase1,Phase2を経て「考えたい」「考えなければならない」
Question(問い)を発見

Q1. 自らの安穩を実現するために、リアリティの価値とバーチャルの価値の相乗効果をどのように得たらよいか？

Q2. 田舎のように人口が減少し経済が停滞するなかでも、安定的に暮らしが営めるための多様性(若者や高齢者、働き盛りなど)を保つにはどうしたらよいか？

Q3 個人の幸せや安心と、コミュニティのなかで生きる幸せや安心を、どのようにバランスさせて最適化できるか？

上記から、特に気になったQuestion(問い)を1つ選び、
モノやサービスといったQuestionの解決となりそうなアイデアを数多く出しました。
そこから、サービスコンセプトづくりへとつなげていきました。

選んだQuestion(問い)

Q1. 自らの安穩を実現するために、リアリティの価値とバーチャルの価値の相乗効果をどのように得たらよいか？

オープン環境でのリアル/バーチャル 連結による安心サービス

自らの安穩を実現するために、リアリティの価値とバーチャルの価値の相乗効果をどのように得たらよいか？という問いに対して、「オープン環境でのリアル/バーチャル連結による安心サービス」を考えました。バーチャルな空間で、患者の自宅に医者ホログラムが出て、医者のほうにも患者のホログラムが出る、そんなサービスです。このサービスによって、初診の患者でも、触診などバーチャルなリモート診断をすることができます。さらに、部屋全体にバーチャルな世界を映すので、病院や医者などとのコネクションを実現することができる。医療だけではなく、遠距離恋愛中のカップルや、単身赴任中のお父さんと子どもにも応用できます。活用する技術は、3D技術や視覚範囲の再現などオープンな環境でのバーチャル投影と、感触を送る技術、人間味。自宅にいながらにして高度な医療が受けられるため、近くに病院がない地方の農山村に住む人も安心して暮らせます。



■想定顧客・ユーザー
・地方の農山村の住民

■サービスの特長・セールスポイント
・初診の患者でも触診を含め、バーチャルなリモート診断が可能
・部屋全体をバーチャルに。病院、医師とのコネクションを実現
・医療だけでなく、仕事、教育、介護、恋愛などにも利用可能

■活用する技術
・3D技術
・視界範囲の再現技術
・オープン環境でのバーチャル投影



サービスコンセプトが生まれるまで

シナリオ2. 信念追求ライフ



シナリオ2.信念追求ライフ

(定常型経済×リスクを恐れない)

- ・生産と消費をバランスさせながら、活発な経済活動が行われる
- 経済性や効率性だけでは評価できないものに価値を見出していく
- ・リスクを恐れずに積極的にチャレンジする、大胆な思考・行動様式をとる人が多数派となる

対話からこの社会の特徴や困ったところを描き出しました

■この社会の特徴:

**標準的・模範的なライフコースにとらわれず、
いつでも体当たりで自分で自分をプロデュースする**

- ・自分の意向、趣味が追求できる
- ・個人主義的な生き方が認められる
- ・ライフイベントのすべてが自己表現機会
- ・個々人の多様性をつなぎ価値化する仕組みが充実

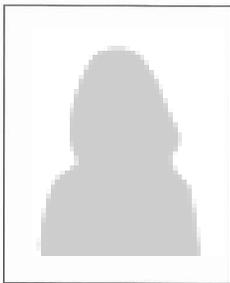
■この社会の困ったところ:

- ・みんなが自分の趣味を追求して行動する
- 周りはストレスを抱えている
- 社会が破たんする
- 実は成長していない
- 美意識追求の果てにポジティブな自殺がふえる
- マスを対象とするモノが売れなくなる
- ・医者や健康食品がなくなる

“個人”というミクロな視点から、シナリオを掘り下げる

畠山千尋さん(35歳)

座右の銘・モットー・口ぐせ:
世界の秋田!!



近影

職業・趣味・特技・住居

主に外国人向けの
アドベンチャー型旅館
を経営(住居兼)
古民家

実家の温泉旅館を経営する畠山さん。旅館経営の傍ら秋田のよさを世界に発信している。そんな中、異常気象で温泉が枯れてしまう。そこで畠山さんは地熱を活用した砂風呂で旅館を再建。しかしまたも異常気象にみまわれ山火事になって木がすべてなくなる。すると秋田を救うべく、世界中から復興再生に人が集まり、新たにさまざまなビジネスが生まれる。

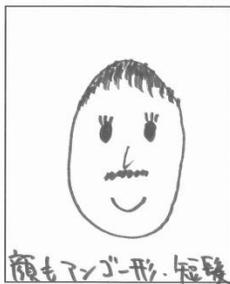
平日の過ごし方 (朝・昼・晩)	休日の過ごし方
秋田 LOVE 24H365D +マンギーパーティー	企画を 考える。

食生活	自家菜園を活用した新鮮な野菜・米・酒を自家製造
最近ハマっていること	VR ラクロス・VR手紙(紙)
好きな情報・コンテンツ	世界遺産・絶景
頼りにしているモノ・人	兄

宝くじがあつたときの使い道	秋田の自然・文化に投資
10年後(2035年)の夢	世界の秋田ブランド樹立
日々楽しみにしていること	
心配ごと 困りごと	出産のタイミング

甲斐隆さん(66歳)

座右の銘・モットー・口ぐせ:
若々しく



近影

職業・趣味・特技・住居

定年後実家宮崎のマンゴー農園を継いだ甲斐さん。経営は順調なもの仕事で忙しくなり奥さんと疎遠に。さらに一緒に仕事をしていたお兄さんが病気で倒れてしまう。しかしここで奥さんが宮崎に来て農園を手伝ってくれることに。そんなとき、異常気象やマンゴーの病気で農園事業が危機に見舞われる。もうだめかと思ったとき、かつてのビジネス人脈から事業資金を獲得。夫婦でフィリピンに移住し、南国フルーツ事業で成功する。

平日の過ごし方 (朝・昼・晩)	休日の過ごし方
地元のレストランへ マンゴーの売り込み	ツーリング
バイクで東京と宮崎を往復、たりそろたり。 (東京)	たりそろたり。 (宮崎)

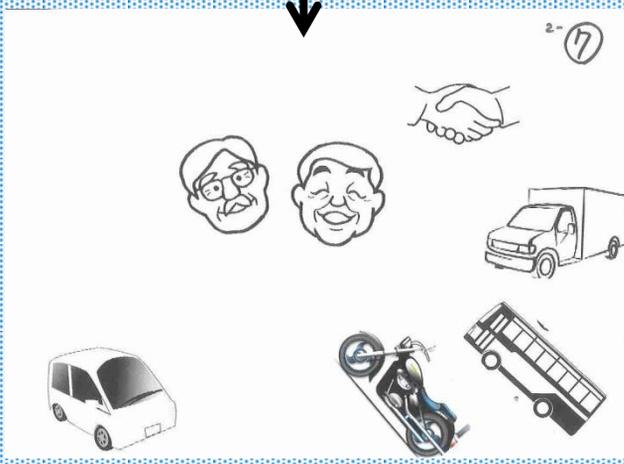
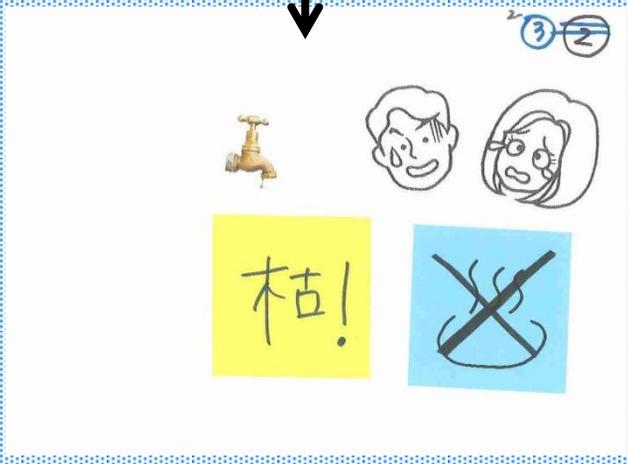
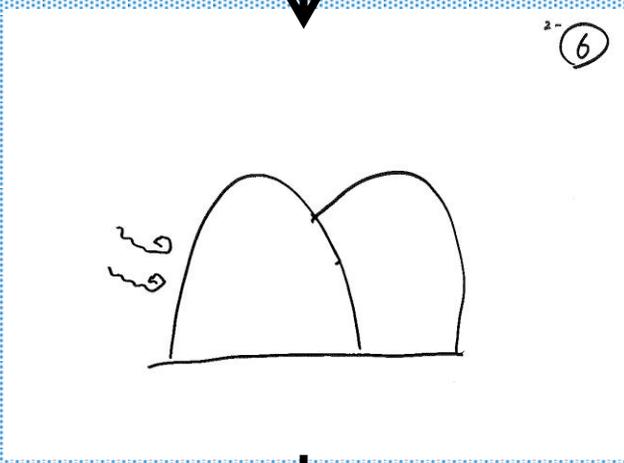
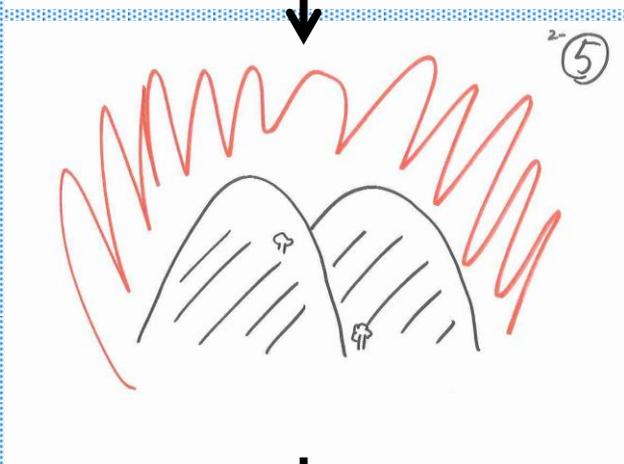
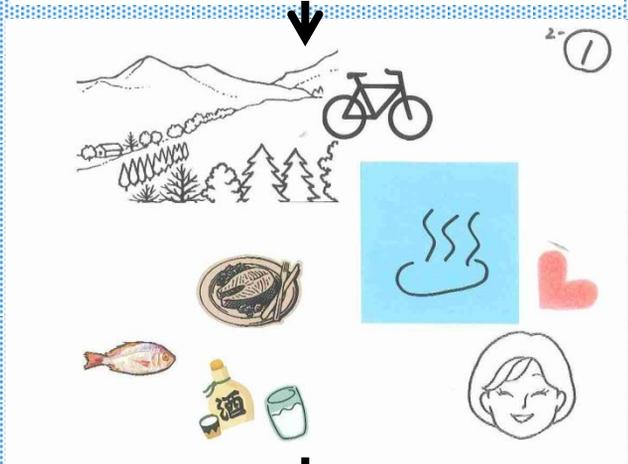
食生活	男の料理 マンゴーを使った新レシピ作り
最近ハマっていること	バイク・ツーリング マンゴー海外展開、リモート生産監視
好きな情報・コンテンツ	バイク、農業
頼りにしているモノ・人	これまでの人脈、仕事の経験

宝くじがあつたときの使い道	マンゴービジネス拡大
10年後(2035年)の夢	バイクで世界一周
日々楽しみにしていること	バイクにのりつたあんな 料理、遊園
心配ごと 困りごと	健康、親のこと 家族

シナリオ2

信念追求ライフ

畠山千尋さん(35歳)の
生活ストーリー



シナリオ2

信念追求ライフ

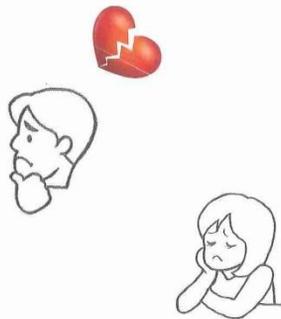
甲斐隆さん(66歳)の
生活ストーリー

①

バイク マンゴー-Biz



② 転換点



③

奥さんが...



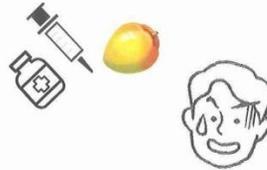
④

奥さんが戻ってくる!!

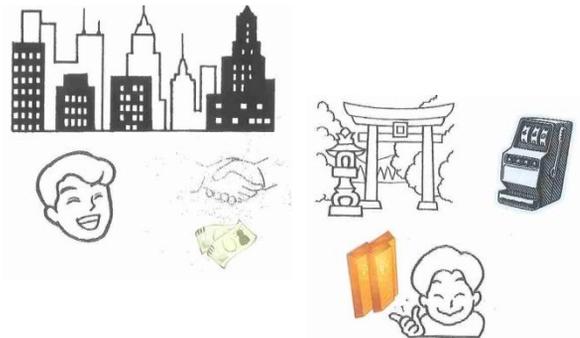


⑤

ピコソ

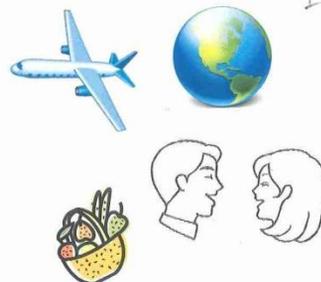


⑥ 転換点



⑦

ピコソ入の4Pクシヨシ
インテ"ラク"



それまで描いてきたシナリオを背景に、その社会における課題・ニーズを発見、“サービスコンセプト”づくりにまで発展させる

Phase1,Phase2を経て「考えたい」「考えなければならない」
Question(問い)を発見

Q1. 天災など、個人対応ができないような危機について、社会として予知予防し対策や対応サポートができるようにするにはどうしたらよいか？

Q2. 自分の信念を追求したライフスタイルを維持しながら、ICTに頼る(活用する)しきい値とは？

Q3. 理想の実現に向けて、信念を同じくする人と、どうしたらつながり一緒に行動することができるか？(どんなときにICTを必要とするか？)

上記から、特に気になったQuestion(問い)を1つ選び、
モノやサービスといったQuestionの解決となりそうなアイデアを数多く出しました。
そこから、サービスコンセプトづくりへとつなげていきました。

選んだQuestion(問い)

Q3. 理想の実現に向けて、信念を同じくする人と、どうしたらつながり一緒に行動することができるか？(どんなときにICTを必要とするか？)

オレ様スキャナー

理想の実現に向けて、信念を同じくする人と、どうしたらつながり一緒に行動することができるか？どんなときにICTを必要とするか？という問いに対して、「オレ様スキャナー」というサービスを考えました。「信念追求ライフ」ということで、一人ひとりが自分の中に信念は持っているが、他人にはなかなかそれが理解されない。そこで、登場するのが「オレ様スキャナー」です。今から10年以上経つと、ウェアラブル端末というのはなくなり、服になっています。着ているだけで、自動的に脳をスキャンしてくれたり、遺伝子を解析してくれる。汗や体温で繊維自体が電気を作り出し、光る仕組みになっています。その人のキャラクターや情熱が服のデザインや色に現れてくるので、自然と他人からの注目が集まって、他人から応援や資金をもらうことができるわけです。言葉や行動で表現しなくても自分のやりたいことに邁進できるようになる。また、周りもオレ様スキャナーを使って自分のキャラクターを服装で表しているのだから、仲間もすぐ見つかります。さらに、オレ様スキャナーの付属品として、自分複合機みたいなものが出てきて、自分にそっくりな弟子みたいなものを作り上げて、どんどん自分の技術や信念を伝承していってくれるというものも考えました。



■想定顧客・ユーザー

- ・同僚、家族、ビジネスパートナー

■サービスの特長・セールスポイント

- ・自分をうまくPRする(資金調達)
- ・自分にないものを得る
- ・判りづらいものに価値を見出す
- ・次世代へつなげる

■活用する技術

- ・脳スキャン、血圧、体温
- ・赤外線センサー
- ・遺伝子解析
- ・体温と汗で発電・発光する繊維
- ・振動・微細動検地



サービスコンセプトが生まれるまで シナリオ3. High Risk High Return ライフ



シナリオ3. High Risk High Return ライフ

(成長型経済×リスクを恐れない)

- ・生産と消費の拡大、成長スピードの向上を目指して活発な経済活動が行われる
経済性や効率性を至上価値とする
- ・リスクを恐れずに積極的にチャレンジする、大胆な思考・行動様式をとる人が多数派となる

対話からこの社会の特徴や困ったところを描き出しました

■この社会の特徴:

失敗が許される環境の中、次々に新しいことに挑み、
人々の挑戦の積み重ねがさらなる経済発展と理想的な生活を実現

- ・自分の理想を実現するために人・物・金を投入
- ・次々と新製品が生み出される競争社会
- ・失敗しても再チャレンジ可能
- ・勝者と敗者の入れ替わりが激しい

■この社会の困ったところ:

- ・地道な仕事は誰もやらなくなるため、ルーチンワークをこなす人材が貴重となる
- ・チャレンジの成功者と失敗者との貧富差が激しくなる
- ・自分の想いを優先してしまうため、人の話を聞かない
- ・自分の思っていたモノと違う時に、捨てる
- ・対人関係に、利害関係が付きまとう

“個人”というミクロな視点から、シナリオを掘り下げる

畠山千尋さん(35歳)

座右の銘・モットー・口ぐせ:
ケセラセラ



近影

職業・趣味・特技・住居

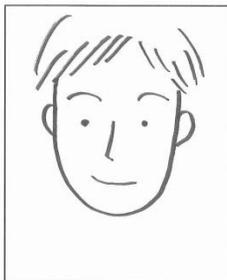
- ① 旅館経営、人生セットサービス
- ②
- ③ 海外(南米) 海客いりところ
- ④ してほい、

南米で悠々自適の生活をしながら、ロボットを使って旅館を経営する畠山さん。しかしロボットを使っている現場の人間の労働環境が世間で問題になり悪評が立つ。そこで思い切ってロボットだけで運営する新型旅館に転換。ビジネスは軌道に乗るも、原発事故で電源が喪失。電気が使えずロボットが動かなくなってしまう。これを逆に利用して今度はからくり人形旅館に転換。人気を博し、地元の木工とのコラボなど、産業化も進む。

<p>平日の過ごし方 (朝・昼・晩)</p> <p>朝 自動調理の朝食</p> <p>昼 ビーチでバーチャル旅館を経営</p> <p>晩 早く寝る テレビパーティ</p>	<p>休日の過ごし方</p> <p>身体を使う。 エアリアルスポーツ etc...</p>	<p>食生活</p> <p>自動調理 珍食も食べる</p>	<p>宝くじがあつたときの 使い道</p> <p>自家用飛行機の購入</p>
<p>最近ハマっていること</p> <p>ローカル文化の探索</p>	<p>好きな情報・コンテンツ</p> <p>人生セットサービスの最新情報</p>	<p>10年後 (2035年) の夢</p> <p>結婚!</p>	<p>日々楽しみにしていること</p> <p>人との出会い</p>
<p>頼りにしているモノ・人</p> <p>ロボット、最先端技術</p>	<p>心配ごと 困りごと</p> <p>若くいられるのか...</p>		

甲斐隆さん(66歳)

座右の銘・モットー・口ぐせ:
オレにかまうな!



近影

職業・趣味・特技・住居

- ・IT投資
- ・バイクドライブ
投資(実益のねる)
- ・住みほり要を気にしている

定年後、奥さんと別居しながら投資生活を送る甲斐さん。しかし投資に成功しても満たされない。勝負人生に疲れてきたとき、たまには他人に何かしてあげようと気持ちを切り替えて回復。そこで改めて世の中に貧困層が増加していることに気付く。そして投資収入の一部を困った人に渡せる制度を発足させ、これを利用して充実した投資生活を過ごすようになる。

<p>平日の過ごし方 (朝・昼・晩)</p> <p>自宅で投資 妻と及女子自引に別居</p>	<p>休日の過ごし方</p> <p>バイクで遠出 時々妻と会う...</p>	<p>食生活</p> <p>好きなものをとにかく食べる</p>	<p>宝くじがあつたときの 使い道</p> <p>全身フル整形 各地にマイ山小屋を買う</p>
<p>最近ハマっていること</p> <p>ドライブスロニに目覚める</p>	<p>好きな情報・コンテンツ</p> <p>若くも稼げるための情報 相場情報</p>	<p>10年後 (2035年) の夢</p> <p>火星に住む その前に宇宙旅行</p>	<p>日々楽しみにしていること</p> <p>子息とのバーチャルトーク</p>
<p>頼りにしているモノ・人</p> <p>できるだけ頼りにするものはなししたい</p>	<p>心配ごと 困りごと</p> <p>最近 血圧が上ってきた</p>		

シナリオ3

High Risk High Return ライフ

畠山千尋さん(35歳)の生活ストーリー

全部をロボット化。④

法律には触れてない!!

人間は管理人。

みんなロボット!

ROBOT RYOKAN

人気①
ロボット旅館。

スライム 新いお客とお客さん。

3-1

原発事故⑤

電気がなくなる...?

事故

事故

3-2

あれ...? あそこ旅館...?

ワンオヘ...!?

世の中!

3-3

からくり人形⑥

電気不要の仕掛け!!

秋田の木工のつらば。

3-4

ロボット経営反対運動がある

裁判

3-5

意外にウケた!! ⑦

逆に新しい!

連日満員御礼!!

3-6

シナリオ3

High Risk High Return ライフ

甲斐隆さん(66歳)の 生活ストーリー

④ 甲斐には
人に何かしてあげたい



甲斐には
人に何かしてあげたいなあ...

甲斐さん ①
投資生活



⑤
負け組の
貧困層増える



困る人
増加



⑥ 個人
基金
制度



③ 勝負人生
に疲れる

これで
いいのだからか...?



また投資を
始めよう!



それまで描いてきたシナリオを背景に、その社会における課題・ニーズを発見、“サービスコンセプト”づくりにまで発展させる

Phase1,Phase2を経て「考えたい」「考えなければならない」
Question(問い)を発見

Q1. 新たなビジネスを着想し実行するためには、どのような環境や仕組み(例:教育、法制度)があるとよいか？

Q2. 成長経済における競争に疲れた人々の「こころ」をどのように癒すか？競争に勝った人は、いったい何によって潤っているのか？

Q3. ハイリターンを目指す人が多いなかで、低賃金やルーチンだが不可欠な仕事をどのようにカバーするか？

上記から、特に気になったQuestion(問い)を1つ選び、
モノやサービスといったQuestionの解決となりそうなアイデアを数多く出しました。
そこから、サービスコンセプトづくりへとつなげていきました。

選んだQuestion(問い)

Q2. 成長経済における競争に疲れた人々の「こころ」をどのように癒すか？競争に勝った人は、いったい何によって潤っているのか？

失敗者再生システム

成長経済における競争に負けて疲れた人々の「こころ」をどのように癒すか？競争に勝った人は何によって潤っているのか？という問いに対して、「失敗者再生システム」というものを考えました。これは、失敗した人が、失敗の経験を売ることによって、お金を稼いだり、成功者からの情報を得てまた再挑戦することができるシステムです。失敗を忘れてリセットできる、バーチャルの世界で再体験、追体験して、やり直すことで能力を磨き、再挑戦するというような循環もあります。セールスポイントは、失敗経験を価値化できる失敗情報市場があるということ、また失敗経験を忘れた人には、忘れさせてあげられるということ。さらに、再挑戦に向けたバーチャルシステムが完備されていること。心が折れる前に、再挑戦できるモチベーションや強い心を取り戻すことができます。想定顧客・ユーザーは、失敗した人。活用する技術は、睡眠マシン、バーチャルでリアルな体験ができるシステム、失敗例をビッグデータ分析するシステム、事業成功のレシピをつくるような学習型マシンによるプログラム提供など分析系の技術です。



■想定顧客・ユーザー

- ・失敗した人

■サービスの特長・セールスポイント

- ・失敗経験価値化、失敗情報市場
- ・失敗経験を忘れた人、忘れさせます
- ・再挑戦に向けたバーチャルシステム

■活用する技術

- ・強制睡眠マシン・バーチャル経験システム
- ・失敗例ビッグデータ分析
- ・事業成功レシピビッグデータ分析



サービスコンセプトが生まれるまで

シナリオ4. Care & Gain ライフ



シナリオ4. Care & Gain ライフ

(成長型経済×リスクを排除する)

・生産と消費の拡大、成長スピードの向上を目指して活発な経済活動が行われる

経済性や効率性を至上価値とする

・できるだけリスクを回避できるよう予防や事前対策に重きをおく、慎重な思考・行動様式をとる人が多数派となる

対話からこの社会の特徴や困ったところを描き出しました

■この社会の特徴:

**多様なサービスを購入して基本的生活の安全を確保、
確実な安心のもと長期的視野で自分磨きやチャレンジを実践**

- ・高度なテクノロジーを駆使した徹底的なリスク排除
- ・使いやすさと堅牢性を両立するセキュリティシステム
- ・中長期的な経済面の安定を確保する仕組みが浸透
- ・安心感をベースとした向上心の高まり

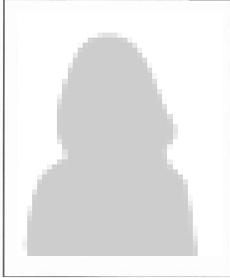
■この社会の困ったところ:

- ・常に機械に管理・監視されている
- ・にぎわいダイナミズムが低下し、分断社会となり、引きこもりも増加する
- ・常に良い人でいないといけない焦燥や、仲間ハズレの恐怖もある
- ・コミュニティの敷居は高くなる
- ・工場野菜しか食べない、中国産排除等、
過剰なまでに遊び、余裕、冒険のない生活になる

“個人”というミクロな視点から、シナリオを掘り下げる

畠山千尋さん(35歳)

座右の銘・モットー・口ぐせ:
男なんて…



職業・趣味・特技・住居
旅行代理店(結婚)
未婚
東京在住

ロボットと二人暮らしの畠山さん。何でもロボットがシミュレーションして提案。その通りに生活する日々を送る。ロボットに頼り切った畠山さんだがある日、ロボットが壊れてしまう。しかし一人では何もできないため新たなロボットを購入。またも依存の日々が始まる。だがロボットがいれば一人でも安心と感じる一方で、結婚願望が高まっていく。そんなとき、多重婚が認められるようになり結婚相手の選択肢が増え、結婚にまつわるリスクが低減する。

平日の過ごし方 (朝・昼・晩) ロボットコーディネート (日により変わる)	休日の過ごし方 婚活 シミュレーション	食生活 東京のモノハロメ 秋田◎ 地元産にこだわり	宝くじがあつたときの使い道 分散投資
		最近ハマっていること Fulu.	10年後(2035年)の夢 やっぱり寂しい結婚したい。
		好きな情報コンテンツ 男マッチングアプリ(シミュレーション)	日々楽しみにしていること エスラサービス・人相 up. 海家護旅行
		頼りにしているモノ・人 ロボット お金	心配ごと 困りごと 結婚のリスクが変化する。

甲斐隆さん(66歳)

座右の銘・モットー・口ぐせ:
イケイケだって安心 子孫繁栄



近影

職業・趣味・特技・住居
安全が確保されてはいる
コミュニティに移住
アールスのエンニアアオハダ
(4人海軍確保)

安全度の高いシニアハウスに住み、健康維持や安全対策サービスなど、お金を使って安心で豊かな暮らしを満喫する甲斐さん。しかし病気の発覚、商品の不具合、詐欺などに遭い何も信じられなくなる。そこで心のよりどころとして愛人を囲うようになる。しかし安心対策の監視システムにより、愛人の存在が周りにばれてしまう。どん底に落ちていた時に孫が登山中の火山が噴火。しかし監視システムにより、孫は災害に遭わずに助かった。自分を不幸にもする一方で、幸せにもしてくれる監視システム。これは本当に必要なものなのかどうか？疑問を抱えながら生活する日々を送る。

平日の過ごし方 (朝・昼・晩) 年間の粉は仕事 (海外も含め)	休日の過ごし方 バイトと海軍	食生活 安全で健康的な食材を選んで食べる。外食と自給。選んで料理する。科学的に合った。	宝くじがあつたときの使い道 貯蓄、孫への遺産。
		最近ハマっていること 予防健康作り活動 (心臓健康ホド(水泳王降式) 安全に安全なバリのレスなで出る)	10年後(2035年)の夢 孫にいた多くの遺産を残すか マイナスに陥り居て 子供の行状
		好きな情報コンテンツ 家族の幸情報。	日々楽しみにしていること 預金口座開設して、二十代の子からのメール
		頼りにしているモノ・人 投資専門家	心配ごと 困りごと この世にしか頼りた ICT社会に力がない。

シナリオ4

Care & Gain ライフ

畠山千尋さん(35歳)の 生活ストーリー

生活に必要な
ことはロボットが
やってくれるわ。

4-1

コン...カ...トノ
シュミ...レーショ...ン...

4-2

依存...

自分じゃ
たにもできない

4-3

新しいロボットが
早く来て良かった

でも...
手は依存しちゃう...

4-4

ロボットがあるから一人でも大丈夫...?



でも結婚はしたい...

4-5



4-6

選択肢が
増えたわー!!

4-7

シナリオ4

Care & Gain ライフ

甲斐隆さん(66歳)の 生活ストーリー

4-0

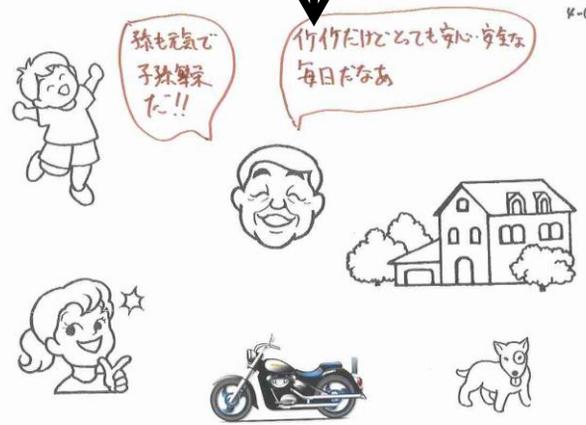
フリビンを
新しいものに
発見



4-1

孫も元気で
子供増えた!!

竹竹はほんとにも安心・安全な
毎日だなあ



4-2

監視
社会
愛人覚
自由度の
低さに
気づく



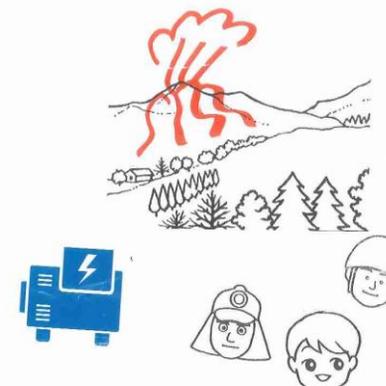
4-3

おじいちゃん
おばあちゃん
バクが
リコーンに!
あー
とめだんご
最近何の
ことか...
診断
結果
禁酒に
下
保険金
せがし
たせ



4-4

噴火、
だけど
予知と
誘導
被害
最小化



4-5

信じてたのに
...
自分に
自信が
たふさふ



4-6



悩む

それまで描いてきたシナリオを背景に、その社会における課題・ニーズを発見、“サービスコンセプト”づくりにまで発展させる

Phase1,Phase2を経て「考えたい」「考えなければならない」
Question(問い)を発見

Q1. 監視のメリット・デメリットの折り合いを、どうすればつけられるか？

Q2. 人と人との信頼に基づくリスク排除のあり方は？

Q3. 安心ボケを打ち破るにはどうすればよいか？

上記から、特に気になったQuestion(問い)を1つ選び、
モノやサービスといったQuestionの解決となりそうなアイデアを数多く出しました。
そこから、サービスコンセプトづくりへとつなげていきました。

選んだQuestion(問い)

Q1.監視のメリット・デメリットの折り合いを、どうすればつけられるか？

監視のメリット・デメリットとの折り合いをどうしたらつけられるか？という問いに対して、「モジャセンサー®OMRON」というサービスコンセプトを考えました。監視とはどうなっていくかを考えたとき、国民全員の情報が監視できれば未来が分かるのではないかという、ラプラスの悪魔的な発想に至りました。このシステムでは、生まれたときに国民全員がチップ型のセンサーを埋め込まれ、意識や何をしているかという情報をどんどん吸い上げられます。それがクラウドに蓄積され、その情報が解析されます。ここで解析されたデータをもとにして、あなたはこんな職が向いていますとか、あなたが会いたい人はこんな人ですよという情報が、クラウドからどんどん降りてくるという構造です。そうなると、皆が楽しく幸せになる。うつ病も減って、病気にもならなくなり、国民皆が幸せだから、政府も潤う。そんなシステムです。



■想定顧客・ユーザー

- ・国民全員

■サービスの特長・セールスポイント

- ・あらゆる事業を予想できる
- ・あらゆる情報を取得・管理

■活用する技術

- ・オムロンのセンサー
- ・GPS
- ・医療
- ・統計分析
- ・ビッグデータ解析
- ・セキュリティ
- ・IT全般

さまざまなバックグラウンドの人々が
知恵や知識を持ち寄ることで、
考えてもみなかったようなアイデアが生まれてくる。

それは一人の天才のひらめきよりも
社会に大きなインパクトを与えるかもしれない。

未来は常に予測不可能なもの。
だったら自分たちで
こうあってほしいという未来をつくってしまえばいい。

HRIのシナリオプランニングでは
未来は不確実なものという前提に立ち、
創造的な対話から
“不確実だが起こりうる可能性のある未来”を複数描き出す。

そこから未来社会における課題やニーズを発見。
新たなビジネスモデルを生み出し、
社会にイノベーションを巻き起こしていく。

今回のセッションはその入口となるものです。
集まった人それぞれが、自分の思いや立場のもとで、
活かしていけたらと願っています。